

令和5年（2023年）1月教育委員会定例会会議録

日 時 令和5年（2023年）1月24日（火） 午後1時30分～午後2時28分

会 場 柏崎市役所1階多目的室

出席者	教育長	近 藤 喜 祐
	委員（教育長職務代理者）	米 谷 杉 子
	委員	阿 部 健 志
	委員	三 嶋 崇 史
	委員	梅 田 広 美

説明のため出席した職員

教育部長	宮 崎 靖 彦
教育総務課長	田 辺 文 敏
学校教育課長 兼 教育センター所長	池 田 弘
文化・生涯学習課長	藤 卷 久 之
スポーツ振興課長 兼 水球のまち推進室長	関 矢 隆 志
図書館長	平 田 晃
博物館長	西 卷 隆 博

説明及び職務のため出席した事務局職員

教育総務課課長代理	伊 比 孝
-----------	-------

議 題

- 1 会議録署名委員の指名
- 2 教育長専決処理報告
 - (1) 令和4（2022）年度一般会計補正予算（第18号）について
 - (2) 新潟県柏崎市部活動指導員任用要綱の一部改正について
- 3 審議事項
 - (1) 令和4（2022）年度教育委員会表彰の被表彰者について
 - (2) 新潟県柏崎市こどもの笑顔創造プロジェクト補助金交付要綱の一部改正について
- 4 報告事項
 - (1) 令和5（2023）年第92回元朝体操会が開催されました
 - (2) 令和4（2022）年度蔵書点検休館について
 - (3) 共催・後援の事業について
- 5 その他
 - (1) 2月定例会の日程について

(2) その他

< 午後1時30分 開会 >

第1 会議録署名委員の指名

(近藤教育長)

会議録署名委員に、阿部委員、梅田委員を指名する。

第2 教育長専決処理報告

(近藤教育長)

教育長専決処理報告に入る。

(1) 令和4(2022)年度一般会計補正予算(第18号)についてを議題とする。

(教育総務課長)

歳入の奨学金基金繰入金804万円の減額は、当初、奨学金の新規貸付者を25人見込んでいたが、令和4年度は13人と、見込みより新規貸付者数が少なかったことから減額するものである。

奨学金元金収入416万円の増額は、一括償還の申し出など、想定していた償還月額より多い償還の申し出があったため増額するものである。

学校教育施設等整備事業債の970万円の減額は、柏崎小学校防災・外壁工事の工事価格が、当初の予定より下回ったため、借りる金額も少なく済むこととなったことから減額するものである。

歳出の奨学金貸付事業804万円の減額は、歳入と同様に新規貸付者数が少なかったことにより減額するものである。

奨学金基金積立金416万円の増額は、償還された奨学金をそのまま基金に積み立てている。償還金が増えたことにより、基金積立金を増額するものである。

小学校施設整備事業1,300万円の減額は、柏崎小学校防災・外壁工事の入札価格が安価に収まったことから、不用額を減額するものである。

荒浜小学校校舎棟等改築事業400万円の減額は、令和5年度から2か年で荒浜小学校改築工事を計画しているが、その実施設計業務委託及び測量業務委託の入札価格が安価に収まったことから、不用額を減額するものである。

(学校教育課長)

歳入の特別支援教育就学奨励費補助金90万円の減額は、当初見込んだ支給対象人数よりも実際の人数が少なかったことにより減額するものである。

歳出の英語教育推進事業324万円の減額は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ALTの来日が遅れたことや、年度途中での退職に伴い報酬等を減額するものである。

小・中学校音楽関連事業166万2千円の減額は、輸送バスの乗車定員を通常定員より減らして予算立てしていたが、年度途中で通常定員になり、使用バス台数を削減することができたため減額するものである。

就学援助費200万円の減額は、学校給食費について、就学援助認定者を多く見込んでいたが、想定より少なかったことにより減額するものである。

就学奨励費 180 万円の減額は、新入学学用品費及び学校給食費について、就学奨励認定者を多く見込んでいたが、想定より少なかったことにより減額するものである。

(文化・生涯学習課長)

歳出の文化会館管理運営費 610 万円及び産業文化会館管理運営費 202 万 6 千円の増額は、光熱水費の高騰に伴い、11 月の教育委員会定例会において上半期分の補正をしたが、今回は下半期分について指定管理料を追加措置したいものである。

産業文化会館整備事業 296 万 9 千円の減額は、産業文化会館の照明設備の LED 化工事について、入札価格との差分を減額するものである。

(スポーツ振興課長)

体育施設管理運営経費 2,543 万 9 千円の増額は、光熱費高騰に伴い、体育施設の指定管理料を増額支援（下半期分）するものである。

佐藤池野球場整備事業 340 万円の減額は、佐藤池野球場スタンド屋根改修工事の入札差額を減額するものである。

(博物館長)

歳出の柏崎市内遺跡発掘調査事業 135 万 7 千円の減額は、試掘などの調査まで工事が至らなかったことから、調査研究委託料を減額するものである。

県道関連遺跡調査事業 1,200 万円の減額は、入札差益により不用額が生じたため、減額するものである。

歳入については、歳出に伴う補助金や受託事業収入の特定財源の減額である。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(近藤教育長)

なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

(近藤教育長)

(2) 新潟県柏崎市部活動指導員任用要綱の一部改正についてを議題とする。

(学校教育課長)

部活動指導員は市の非常勤職員であり、中学校の部活動担当者を補佐し、実際に生徒の指導に当たってもらうため教育委員会が任用している。費用は、国や県から補助を受け、報酬を支払っている。

今回の一部改正の内容について、1 つ目は合同部活動への対応である。中学校単位で実施する部活動だけでなく、現在、試行段階だが部活動の地域移行への取組を進めている。その中で、単独の学校だけではなく、複数校合同での活動も今後、認めていくためのものである。2 つ目は、勤務上限時間を超えての勤務についてである。年間の勤務時間が国県で定められている。年間で上限 210 時間である。実際に活動してもらうと、不十分な時間である。年度途中に欠員や活動時間の減少等により、全体の予算の中で予算の残額が見込まれた場合に予算を有効活用したいものである。また、指導の必要が認められる場合は、全体の予算の範囲内で 210 時間を超える勤務を可能とするためである。3 つ目の報酬額変動への対応は、令和 5 年度の予算要求における非常勤職員報酬単価の増額に伴い、部活動指導員の報酬も増

額となる見込みであるための改正である。

令和4年度に、市では部活動指導員を10名配置している。第一中学校1名、第三中学校1名、瑞穂中学校1名、鏡が沖中学校1名、松浜中学校2名、南中学校1名、東中学校2名、西山中学校1名である。そのうち、210時間を使った方が4名いる。その方々が1月以降も指導できるよう、都合で時間を消化できなかった方の分を運用したいものである。

さらに、地域移行に向けた合同部活動を推進していくため、来年度は部活動指導員を16人に増員したいと考えている。合同練習を可能にし、子ども達が自分のやりたい部活動をできるように推進していきたい。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(阿部委員)

部活動指導員の年齢構成はいかがか。

(学校教育課長)

40歳代から60歳代である。指導経験が豊富な方から役に就いてもらっているところである。

(阿部委員)

部活動も教育の一環であると考え。ぜひ、子ども達のために予算を充てていただきたい。

(米谷委員)

校長が、どの程度、部活動指導員と関わっているのか分からなかったが、要綱の第6条に「部活動指導員は、校長等の指揮監督を受け」とある。また、第14条に「校長等から提出された部活動指導員勤務実績報告書」とあり、校長が部活動指導員を監督することを確認できた。合同部活動の場合は複数校の代表校長が監督し、実績や時間だけではなく、指導内容や子ども達にとっての成果や人格的な評価もするのか。指導者の選定は教育委員会の重要な役割である。

(学校教育課長)

制度開始当初は校長から推薦してもらい、教育委員会で審議、面接を行い採用した。指導者としての資質や人格などを大事にしながら、当該校の校長が推薦した人を採用している。校長の責任の下で練習や大会への参加をしていることを教育委員会でも確認しており、実績として報告も受けている。

内訳として、卓球部、バスケットボール部、剣道部、バレーボール部、陸上競技。ほかに、吹奏楽を実施している。教員経験者や種目の指導実績のある方を採用しているが、今後、合同部活動で採用する場合は代表校長を指定し、指導監督をしていく。また、若い指導者の発掘、育成も取り組んでいきたい。

(三嶋委員)

若手の指導者は、今の知識やスポーツトレーナー的な指導ができる。テーピングひとつにしても、現代は巻き方が違うと思う。指導者の資質を向上するために、研修会や環境づくりも大切であると思う。合同部活動について、何部が対象となっているか聞きたい。

(学校教育課長)

指導者の資質向上については、努力していく。

合同部活動については、令和4年度に試行的に実施している部活動は、軟式野球とソフトテニスである。令和5年度は、陸上競技とバスケットボールを予定している。

(阿部委員)

附則に決裁日から施行とあるが、施行予定日はいつか。

(学校教育課長)

施行日を明記していないが、すでに動き出している。このため、教育長専決処理報告とさせていただいた。

(近藤教育長)

ほかになれば承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

第3 審議事項

(近藤教育長)

審議事項に入る。

(1) 令和4(2022)年度教育委員会表彰の被表彰者についてを議題とする。

(教育総務課長)

被表彰者の選定にあたり、教育委員会内の選考会を1月17日に開催した。選考会の出席者は、教育長、教育部長及び各課、館長である。その結果は候補者一覧のとおりである。

被表彰者数は、教育文化関係が8件、体育関係では小学校が15件、中学校が13件、高校が18件、地域振興が2件、体育・スポーツ振興関係の一般が3件、感謝状の贈呈が4件、教職員関係が6件、合計69件である。

部活動の地域移行が進んでいくが、市外のクラブチームに所属しての表彰が増えていくことが予想されることから、情報収集の仕方を検討していく必要がある。

個別の功績は、配付資料のとおりであり、説明は割愛する。

表彰式は、2月14日を予定しており、会場は市民プラザである。コロナ禍であることから式典は、部屋を広く使い密を避けることや、消毒を徹底すること、あいさつを省略するなど昨年同様に感染防止対策など工夫をしながら開催することとした。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(阿部委員)

受賞者数の動向はいかがか。

(教育総務課長)

令和4年度は、69件の個人・団体を表彰させていただく。令和3年度が57件、令和2年度は53件、令和元年度は79件、平成30年度は98件であった。

(近藤教育長)

ほかになれば承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

(2) 新潟県柏崎市こどもの笑顔創造プロジェクト補助金交付要綱の一部改正についてを議題とする。

(学校教育課長)

こどもの笑顔創造プロジェクト事業とは、柏崎こども大学の事業の中の一つである。子ども達のための事業に補助金を交付している。

一部改正の内容は、補助金の見直しを行ったところ、限度額を30万円から20万円に引き下げたいものである。理由は、ここ数年の実績を調べたところ、満額30万円の補助を申請している学校、地域もあるが、令和4年度は、10件の事業のうち、5件は約20万円前後の申請であった。また、当事業の運営資金は柏崎こども育成基金だが、令和3年度末の残金が約4,320万円である。例年は約1千万円の予算で事業を行っている。同じ予算規模で事業を行っていくと、5年後くらいには基金を使い切ってしまう恐れがあることから、事業を子ども達のために永く継続していくために基金を増やす努力もしていくが、事業の見直しを行いたい。20万円に減額したとしても、地域での活動を継続することができるかと判断し提案したものである。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(梅田委員)

申請と承認の状況を聞きたい。

(学校教育課長)

例年10件前後の申請がある。限度額の範囲内ではあるが、申請があったものはほとんど認めている。

(梅田委員)

年度が変われば、毎年申請することは可能か。

(学校教育課長)

毎年申請をしている団体もある。そのような団体については、過去には申請が多くあり、審査の段階で認めないケースがあったようである。

(梅田委員)

20万円になったとしても、事業展開は可能であり、多くの団体から利用していただきたい。

(阿部委員)

こども育成基金の収入源はあるのか。

(学校教育課長)

柏崎こども育成基金の設置は平成12年、西暦2000年である。これは、市制60周年の記念事業の一つとして基金が創設され、当初は1億2千万円ほどであった。収入は、市からの繰入金のほか、市民、企業、各種団体などからの寄付金で成り立っている。

(近藤教育長)

他になければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

第4 報告事項

(近藤教育長)

報告事項に入る。

※教育長及び各課（館）長が資料に沿って説明

- (1) 令和5（2023）年第92回元朝体操会が開催されました
 - (2) 令和4（2022）年度蔵書点検休館について
 - (3) 共催・後援の事業について
- (近藤教育長)

以上で報告事項を終わる。

第5 その他

- (1) 2月定例会の日程について 2月16日（木）午後1時30分開会
 - (2) その他
- (事務局)

- ・令和4年度（2022年度）教育委員会定例会の日程変更について
- ・令和5年度（2023年度）教育委員会定例会の日程について
- ・令和5年度新潟県市町村教育委員会連合会理事会・定期総会及び研修会日程等について

< 午後2時28分 閉会 >

以上、相違ないことを確認する。

令和5年（2023年）2月16日

教育長 近 藤 喜 祐

委 員 阿 部 健 志

委 員 梅 田 広 美